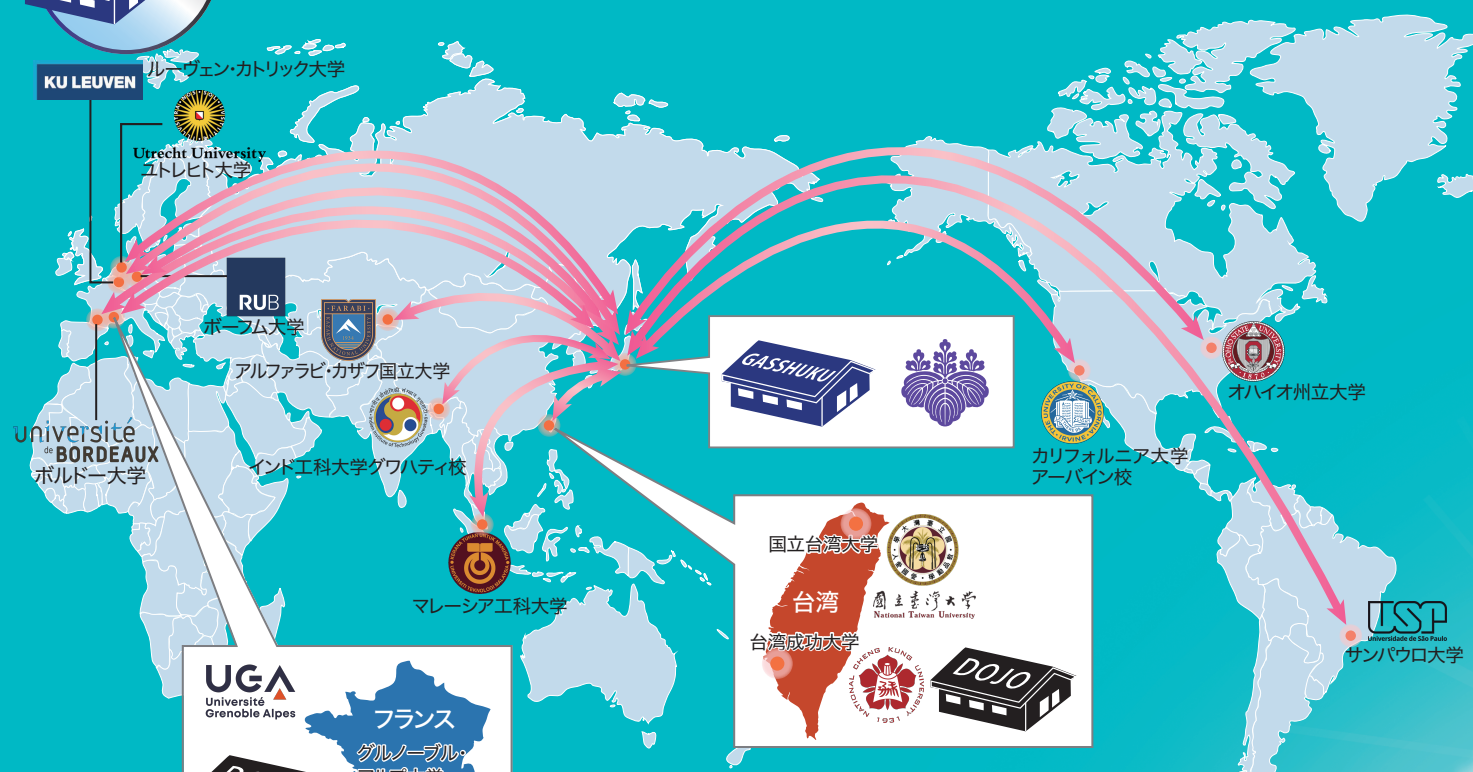




Campus-in-Campus校を中心に企業及び自治体と連携



Campus-in-Campus

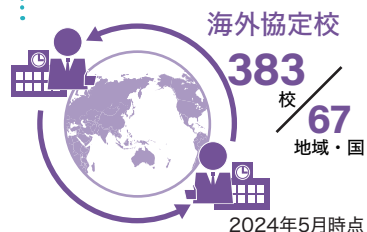
筑波大学のCampus-in-Campus(CiC)は、2025年現在、10か国・地域の13大学と提携しています。

CiC協定を締結したパートナー大学との間で、キャンパス機能を共有し、国境や機関の壁を越えたトランスボーダーな教育研究を実現する仕組みで、学生・教職員が世界の大学をホームキャンパスとして自由に活動ができます。

10カ国・地域13大学

フランス: グルノーブル・アルプ大学
ボルドー大学
オランダ: ユトレヒト大学
ドイツ: ボーフム大学
ベルギー: ルーヴェン・カトリック大学
インド: インド工科大学グワハティ校
マレーシア: マレーシア工科大学
カザフスタン: アルファラビ・カザフ国立大学
台湾: 国立成功大学
国立台湾大学
米国: オハイオ州立大学
カリフォルニア大学アーバイン校
ブラジル: サンパウロ大学

筑波大学はCiC校以外にも、学生交流や共同研究を推進する海外協定校を世界中に有しており、学生は交流プログラム等に積極的に参加しています。



FAQ

学生の皆様からのよくある質問

費用はいくらかかるの？

参加費はプログラムによって異なります。本学の留学支援であるはばたけ! 筑大生やJASSOの留学支援制度等を活用できます。

行き先は選べるの？

パートナー校は複数あり、プログラムの内容によってご自身で希望することができます。

単位は取得できるの？

多文化共修科目が整備され、単位を取得できるようになります。

サポートしてくれる教職員はいるの？

全てのプログラムにおいて、サポートする教職員やTAがおりますので安心ください。

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

GASSHUKU(合宿)と DOJO(道場)による グローバルスタートアップ人材育成

～日本と世界をつなぐグローバルな視野を獲得しよう～



「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」は、国内外での国際的な共修のための体制の構築等を通じ、更なる大学の国際化の推進、日本人学生の派遣、外国人留学生の受入れ・定着それぞれが相互に作用する好循環の創出を目的として、文部科学省において令和6(2024)年度から開始された事業です。本学はこの事業において、「海外展開型」として採択されました。



ソーシャルインパクト創出事務局
お問合せ: ☎305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
social.impact@un.tsukuba.ac.jp
<http://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学
University of Tsukuba

■プログラムについて

このプログラムで育成される人材像

インクルーシブかつサステイナブルなスマート社会の実現に向けた未来デザインができ、国内外を問わずその地での社会変革に向けた行動力や実装力によって事業を開始し推進できる人材です。

このプログラムで涵養される資質・能力

様々な文化を背景にする多様な人々への優れた共感性を持ち協業できる能力や、多分野にわたる広範な知識とそれらを諸問題に適用できる能力。そして創造的デザイン思考ができ、立案から実装までを受け持てる幅広い実行能力やリーダーシップです。

このプログラムに参加した学生が、国内外での起業や国際機関等での活躍により、持てる能力で社会還元できること(JUMP)を目指す

そのため、学士課程入学時から、学生の多文化共修への興味とインセンティブを誘発できる環境を整えることを重要課題とし、RUN-UP → HOP → STEP → JUMPの各段階に資する正課・正課外の活動を設計し計画しました。



① RUN-UP 筑波大学で



グローバル意識の醸成
日本人学生と外国人学生がともに学ぶ多文化共修環境のもと、異文化理解、多言語理解とともに、地球規模課題を理解し、個々のキャリアデザインに結び付ける。



未来社会デザイン棟(2026年竣工予定)

未来社会デザイン棟

チュートリアル教育をはじめとする先端的な教育研究の実践及び学生文化を発信する場であり、学生が絶えず社会とのかかわりや地域との交流を意識して活動できる多文化共修の拠点。

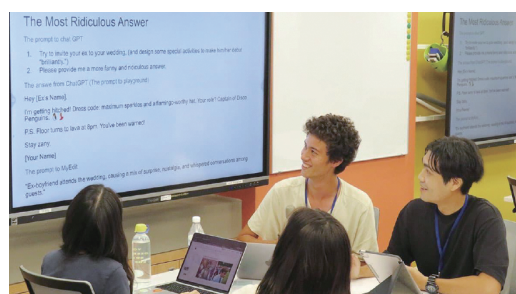
多文化キャンパス

全学生数合計
16,722人
2024年5月時点

2,411人

116ヶ国・地域
からの留学生

② HOP GASSHUKU(合宿) 日本で



海外パートナー大学から受け入れた学生が本学学生と寝食を共にし、未来社会デザイン棟などで、自治体や企業等の社会課題を解決する場です。

- ・外国人学生、日本人学生、企業等の担当者が一緒に課題解決を図るため、大学と企業等の共育を行う。
- ・企業等と連携したインターンシップも行う。



地域課題をグローバルな視点で解決する機会を提供し、日本人学生と外国人学生で構成されたチームで取り組む。

■多文化共修環境

本学には116ヶ国・地域から2,400人を超える外国人学生が在籍しています。混住型学生宿舎も整備され、多くの多文化共修科目が開設されており、外国語でのChat Caféなどの正課外活動も活発です。この多文化共修環境のもと、日本人学生と外国人学生が共に学び、大学が企業・自治体と一緒に共育するプログラムを開始します。

■多文化共修マイスター制度

全体のアクティビティを終え、優秀な成績を修めた学生には多文化共修マイスターとしてオープンバッジを発行します。



④ JUMP

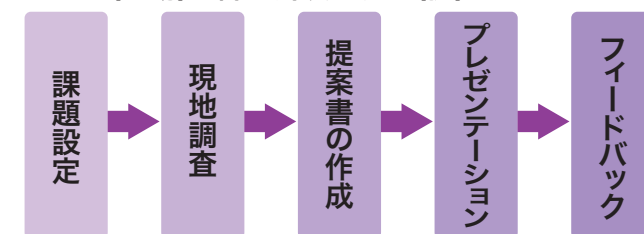
後輩・次世代への
伝道師
自らの挑戦!

③ STEP DOJO(道場) 海外で

本学の学生が、海外パートナー大学において、現地学生と共に現地の自治体、企業等と連携して、社会課題の解決に取り組む場です。

- ・社会課題解決を目指すハッカソンイベントなどの短期研修プログラムを開催
- ・単位付与やマイクロレデンシャルの発行を行う。

DOJO(道場)の課題解決の流れ(例)



GASSHUKU経験をもとに実際に海外で多文化共修に取り組むことにより、日本的なアプローチや自らの持つ強みを確認し、課題解決のスキルアップができます。



現地調査



提案書の作成

プレゼンテーション

DOJO in 台湾 NCKU(2025年2月8日~16日)

④ JUMP グローバルスタートアップ人材

インクルーシブかつサステイナブルなスマート社会の実現に向け、国内外を問わず社会を変革する行動力と実装力を兼ね備えたグローバルスタートアップ人材育成を目指します。DOJOでの経験を生かした起業や長期の海外滞在に自ら挑戦し、次世代にも挑戦を促す伝道師の役割を担うことができます。

